

「自動車工学基礎講座 2017」を開催しました

～自動車全体視点から技術を考える目」を養う～

【開催日】（前期）平成 29 年 6 月 27 日（火）28 日（水）

（後期）平成 29 年 7 月 26 日（水）27 日（木）

【会場】 広島県情報プラザ

【受講者数】 41 社 1 大学 121 人

今年で 3 回目となる「自動車工学基礎講座 2017」を（公社）自動車技術会との共催にて開催しました。この講座は、広島県内の自動車関連企業や大学の若手エンジニアを対象に、自動車に関する技術全般を学ぶ研修会です。自動車技術を基礎的かつ体系的に習得することにより、自動車全体システムを見渡せる幅広い視野と実践的スキルを身につけた人材の育成をめざしています。



講義風景

講座の冒頭に、クルマづくりのプロによる特別講演を行い、ホンダの「ビート」「S660」の開発に関わった、石橋 豊氏（本田技術研究所㈱）より、2 つの車の開発を通じた夢の実現について、技術者としての心構えや取組み姿勢など熱いお話をいただきました。



近藤先生（本田技術研究所㈱）による振動騒音講義

続いて、自動車メーカーや大学の専門家講師による、16 テーマにおよぶ講義が前期・後期 4 日間に渡り繰り広げられました。受講者からは「自身の専門でない分野まで広く学ぶことができ、今後仕事をしていく上で異なった目線から業務を見つめ直す足かりとなると思う。」との感想をいただきました。

また、会場には、エンジンやブレーキシステム、サスペンションなどのカットモデルを展示し、当センターのコーディネーターらがその機構やしきみについて解説しました。

講義で聴いた内容を実部品に触れながら確認できるとあって、「実物を見て理解が深まった」との声がありました。



カットモデル見学

そのほか、地域でつくられている自動車部品（実物）とそれに関わる技術を紹介する展示、および公設試や大学による産学連携研究体制などを紹介するパネル展示を行い、技術開発に関する情報収集に役立てていただきました。

今後も当講座では、地域の企業様のご意見・ニーズなどを反映し、さらに充実した講座にしていきたいと考えております。